

## 古典 A グループで復習 ワークのやり方

### 0) 準備

- ①テキスト範囲を人数割りする
- ②最初の教師役を決める（あとは時計回りに順に）

### 1) 唱和練習

教師役の後についてみんなで唱和（授業でやっているのと同じ）

- ①古文→古文
- ②現代語→古文
- ③古文→現代語

※教師役が困っている場合、読みが間違っている場合など、お互いに教えあう。

### 2) 話し合い（ブレインストーミング）

- ①意見はすべて受け入れる
- ②批判しない
- ③突飛な意見大歓迎
- ④人の意見をもらって変形してよい（パクリで連想）

# 古典 A グループ 話し合いワークシート

\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

## 『伊勢物語』〈通ひ路の関守〉

### 1) グループワーク

次の問いの答えを各自考え、グループ内で話しあおう。

- ①男は、どんな気持ちで通っていたのか
- ②女は、どんな気持ちで男の訪問を受け入れていたのか
- ③男の存在を知ったあるじ（父親）は、どんな気持ちだったのか
- ④父が男の来訪を黙認したのは、どんな気持ちの変化があったのか

【考え方】女は、天皇の後になる運命（実際、そうなった）。あるじ（父親）がそれを計画し、女も男もそれを知っていたという前提で考えよう。

問いの余白に、発言したい内容をメモしてもよい（しなくてもよい）。

【進め方】順に発言する。1つの問いに、各自1回以上、意見を言う。他の人の意見を聞いて、思いついたことがあったら、2回目、3回目の発言をしてもよい。この問いの答え以外は言わない。全員が問いに対して言いたいことを言い終わったら、次へ進む。

### 2) 個人ワーク （話し合い後）

3人の登場人物たちの気持ちについて、あなたはどんなことに気づいたか。  
自分の考えを書く。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 古典 A グループ 話し合いワークシート

\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

## 『伊勢物語』〈あづさ弓〉

### 1) テーマ

「この悲劇を避けるには、いつ、誰が、どうすればよかったか」

例：「男を追いかけたとき、女が早く走って追いつければよかったのに」

※「言ってもしょうがない」など否定しない。何でもいから悲劇を避ける方法をあげる。

※「いつ」は場合によっては、なくてもよい

### 2) 手順

#### (1) ブレインストーミング

- ①一つの意見を付箋に書いて、中央の紙に出す。
- ②みんなに聞こえるように、声に出しながら。
- ③ブレストのルールに従う（批判禁止、突飛な意見大歓迎）

#### (2) 付箋の整理

ある程度出たら次の基準で付箋を並べ替える。整理しながらさらに出してよい。

- ①時間順 「いつ」で、時間の順に並べる。
- ②人物ごと 同じ時の中では、登場人物別にまとめる。
- ③似たもの整理 同じとき、同じ人物で、似た意見を近くにまとめる。

### 2) 個人ワーク （話し合い後）

この悲劇について、あなたはどう感じ、どう考えるか。自分の考えを書く。

---

---

---

---

---

---

---

---